

令和6年度
シラバス

教科・科目	国語・現代の国語	単位数	2
-------	----------	-----	---

学年・クラス	1 学年 (必修) ・ 選択)	担 当 者	秦 利幸
使用教科書	新編現代の国語 (大修館書店)		
使用副教材			

目 標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、主体的に活用する力を養う。
- (2) 問題解決に向け、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを分析し、広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯に亘って読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や地域、社会に関わろうとする態度を養う。

授業の内容・進め方

授業の内容：教科書教材を用いて単元目標に沿った言語活動を実施し、言語能力の項目ごとの向上を図る。

進め方：教科書教材の読解を中心に言語活動を展開し、単元目標の言語能力の向上を図る。

適宜、課題や班活動に取り組むが、板書を中心に説明の理解に注力する時間もある。

なお、ノートは手書き以外の方法で取っても良いが、ICT機器の不適切な使用は認めない。

考 査：授業内の言語活動等を通して学習した国語力の向上を確認する。例えば、文章を要約する力を身につける単元を実施した場合には、課題本文を要約して読むことができるようになっているかを設問において確認する。

評価規準（観点別達成目標・評価項目）

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	話し言葉や書き言葉の特徴、役割、表現の特色などを踏まえ、分かりやすさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、目的に応じて適切に使用している。 主張と論拠、具体例など、情報と情報との関係について理解している。	国語科の「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」の各領域において、表現の特色に注目し、主張と論拠や具体例などの情報を正確に理解し、受容することを通して、他者の思考に触れ、自身のものの見方、考え方、感じ方を広げたり深めたりしている。	国語科の「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」の各領域に関して、言語活動に興味・関心を持ち、自らの学習に見通しを立てて粘り強く取り組むとともに、基礎的な知識・技能を積極的に吸収し、自身の言語能力の改善・向上を図ろうとしている。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	定期考査 (年2回)	◎	◎	△
	各単元における提出課題	◎	◎	◎
	単元テスト等のまとめ課題	◎	◎	△
	授業中の様子	○	○	◎
	長期休業課題	○	○	◎

・ 観点別評価 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。

A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する

・ 評価・評定 観点別評価から総合的に成績（評価・評定）を決定する。

指導計画及び単元別評価基準

学 期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
前 期	4	好きな物を紹介し 合おう。	自分の好きな物に ついて、ショート スピーチをし合う 活動を通し、聞き 手に伝わりやすい 話し方についての 理解を深める。	・話し言葉の効果的な表現や、内容の構成の仕方、話の聞き取り方や質問の仕方、話題の深め方や効果的な話し合いの手法といった、基礎的な知識・技能を習得している。 ・情報をその重要度や抽象度などから階層化して整理することで、分析を深めたり、考えを多角的にしたりする方法について、理解を深めている。	・国語の「話すこと・聞くこと」において、スピーチで話す内容を集め、伝えたいことを明確にし、話の構成や展開を工夫している。 ・国語の「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、声の大きさや話す速さ、表情や間の取り方、身振りなどを意識している。	単元の言語活動の内容について興味・関心を持ち、自らの言語能力の向上や自身の課題の改善に向けて、見通しを立てて粘り強く取り組もうとしている。
		文章の種類を考えよう。	礼文島のあらゆる情報の説明をしている文章を読み比べる活動を通し、論理的な文章と、実用的な文章との違いについて理解する。	・主張と根拠など情報と情報との関係について理解し、その妥当性や信頼性の吟味の仕方についても理解を深めている。 ・情報をその重要度や抽象度などから階層化して整理することで、分析を深めたり、考えを多角的にしたりする方法について、理解を深めている。	・国語の「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開等について、その文章の種類を踏まえながら、叙述をもとにした的確にとらえ、要旨や要点を把握している。	単元の言語活動の内容について興味・関心を持ち、自らの言語能力の向上や自身の課題の改善に向けて、見通しを立てて粘り強く取り組もうとしている。
	5	一文で伝えよう。	テーマや条件に沿って一文で内容を伝える活動を通して、語彙や表現に注目し、求められている情報を簡潔かつ適切に伝える方法について理解する。	・書き言葉の特徴や、役割、表現の特色などをふまえて、正確さ、伝わりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使っている。 ・情報をその重要度や抽象度などから階層化して整理することで、分析を深めたり、考えを多角的にしたりする方法について、理解を深めている。	・国語の「書くこと」において、自分の考えや物事の内容が、相手に的確かつ自分の意図した通りに伝えられるように、文章の種類を踏まえて表現や語彙等の書きぶりを工夫している。	単元の言語活動の内容について興味・関心を持ち、自らの言語能力の向上や自身の課題の改善に向けて、見通しを立てて粘り強く取り組もうとしている。
	6					

7	文と文との関係に注目し内容を読み取ろう。	接続表現に着目しながら文章を読む活動を通して、文と文の関係が内容にどのような影響を与えているのか理解する。	・主張と根拠など情報と情報との関係について理解し、その妥当性や信頼性の吟味の仕方についても理解を深めている。 ・情報をその重要度や抽象度などから階層化して整理することで、分析を深めたり、考えを多角的にしたりする方法について、理解を深めている。	・国語の「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開等について、その文章の種類を踏まえながら、叙述をもとにした的確にとらえ、要旨や要点を把握している。	単元の言語活動の内容について興味・関心を持ち、自らの言語能力の向上や自身の課題の改善に向けて、見通しを立てて粘り強く取り組もうとしている。
	事実と意見を書き分けよう。	料理のレシピ、本の書評、ポップ、企画書などを書く活動を通し、事実と意見の書き分け方やその異同について理解する。	・書き言葉の特徴や、役割、表現の特色などをふまえて、正確さ、伝わりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使っている。 ・情報をその重要度や抽象度などから階層化して整理することで、分析を深めたり、考えを多角的にしたりする方法について、理解を深めている。	・国語の「書くこと」において、自分の考えや物事の内容が、相手に的確かつ自分の意図した通りに伝えられるように、文章の種類を踏まえて表現や語彙等の書きぶりを工夫している。	単元の言語活動の内容について興味・関心を持ち、自らの言語能力の向上や自身の課題の改善に向けて、見通しを立てて粘り強く取り組もうとしている。
	前期期末考査 （上記5単元の内容を踏まえて実施。テキストは教科書本文によるとは限らない。）				
	話の内容を正確に聞き取ろう。	リスニングテストを作成して実施し合う活動を通し、話の重点を的確に判断し、話し手の意図を汲み取りながら聞く方法について理解する。	・話し言葉の効果的な表現や、内容の構成の仕方、話の聞き取り方や質問の仕方、話題の深め方や効果的な話し合いの手法といった、基礎的な知識・技能を習得している。 ・情報をその重要度や抽象度などから階層化して整理することで、分析を深めたり、考えを多角的にしたりする方法について、理解を深めている。	・国語の「話すこと・聞くこと」において、必要な情報を意識しながら聞き、情報を適切に整理している。 ・国語の「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、声の大きさや話す速さ、表情や間の取り方、身振りなどを意識している。	単元の言語活動の内容について興味・関心を持ち、自らの言語能力の向上や自身の課題の改善に向けて、見通しを立てて粘り強く取り組もうとしている。

後 期	10	論理の展開を捉えよう。	課題の文章の構造図を作成する活動を通して、各意味段落の関係を整理し、文章の巧みさや流れ、書き手の意図などについて理解する。	・主張と根拠など情報と情報との関係について理解し、その妥当性や信頼性の吟味の仕方についても理解を深めている。 ・情報をその重要度や抽象度などから階層化して整理することで、分析を深めたり、考えを多角的にしたりする方法について、理解を深めている。	・国語の「読むこと」において、文章や図形等に含まれている情報を相互に関係付けて、内容や書き手の意図を解釈したり、その文章の構成や、論理の展開などについて評価したりして、自分の考えを深めている。	単元の言語活動の内容について興味・関心を持ち、自らの言語能力の向上や自身の課題の改善に向けて、見通しを立てて粘り強く取り組もうとしている。
	11	質問をして話題を深めよう。	面接やインタビューなどのロールプレイで質問をする活動を通し、相手の話を的確に焦点化して話題を深めていく方法について理解する。	・話し言葉の効果的な表現や、内容の構成の仕方、話の聞き取り方や質問の仕方、話題の深め方や効果的な話し合いの手法といった、基礎的な知識・技能を習得している。 ・情報をその重要度や抽象度などから階層化して整理することで、分析を深めたり、考えを多角的にしたりする方法について、理解を深めている。	・国語の「話すこと・聞くこと」において、適切なテーマを決め、必要な情報を収集するために、相手の反応を予想して、話の内容や展開、質問の仕方等を工夫しながら、インタビューを行っている。 ・国語の「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて、声の大きさや話す速さ、表情や間の取り方、身振りなどを意識している。	単元の言語活動の内容について興味・関心を持ち、自らの言語能力の向上や自身の課題の改善に向けて、見通しを立てて粘り強く取り組もうとしている。
	12	実用的な文章を書こう。	目的や意図に応じて情報を伝達する文章を書く活動を通して、事実と意見・感想を交えた実用的な文章を、適切で効果的に構成する方法を理解する。	・書き言葉の特徴や、役割、表現の特色などをふまえて、正確さ、伝わりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使っている。 ・情報をその重要度や抽象度などから階層化して整理することで、分析を深めたり、考えを多角的にしたりする方法について、理解を深めている。	・国語の「書くこと」において、自分の考えや物事の内容が、相手に的確かつ自分の意図した通りに伝えられるように、文章の種類を踏まえて表現や語彙等の書きぶりを工夫している。 ・国語の「書くこと」において、推敲の観点を理解して自分が書いた文章を見直し、文章全体を整えたり、改善したりしている。	単元の言語活動の内容について興味・関心を持ち、自らの言語能力の向上や自身の課題の改善に向けて、見通しを立てて粘り強く取り組もうとしている。
	1					

2	論理的な文章を書こう。	根拠を明示し、筋道立てて論理的な文章を書く活動を通し、伝えるべき主張に対して適切な根拠や論拠を示しながら、結論に向かって筋道立てながら文章を組み立てる方法について理解する。	・書き言葉の特徴や、役割、表現の特色などをふまえて、正確さ、伝わりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使っている。 ・情報をその重要度や抽象度などから階層化して整理することで、分析を深めたり、考えを多角的にしたりする方法について、理解を深めている。	・国語の「書くこと」において、自分の考えや物事の内容が、相手に的確かつ自分の意図した通りに伝えられるように、文章の種類を踏まえて表現や語彙等の書きぶりを工夫している。 ・国語の「書くこと」において、推敲の観点を理解して自分が書いた文章を見直し、文章全体を整えたり、改善したりしている。	単元の言語活動の内容について興味・関心を持ち、自らの言語能力の向上や自身の課題の改善に向けて、見通しを立てて粘り強く取り組もうとしている。
	後期期末考査 （上記5単元の内容を踏まえて実施。テキストは教科書本文によるとは限らない。）				
	討論をしよう。	身近なテーマから近年の社会問題に関することなど、他教科での学びも横断的に発揮しながら集団討論を行い、効果的な話し合いの手法や、話の仕方・聞き方についての学びを深める。	・話し言葉の効果的な表現や、内容の構成の仕方、話の聞き取り方や質問の仕方、話題の深め方や効果的な話し合いの手法といった、基礎的な知識・技能を習得している。 ・情報をその重要度や抽象度などから階層化して整理することで、分析を深めたり、考えを多角的にしたりする方法について、理解を深めている。	・国語の「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが相手へと的確に伝わるように、立場などを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えたり、対話に応じて柔軟に変更したりするなど、話の構成や展開を工夫している。 ・国語の「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、声の大きさや話す速さ、表情や間の取り方、身振りなどを意識している。	単元の言語活動の内容について興味・関心を持ち、自らの言語能力の向上や自身の課題の改善に向けて、見通しを立てて粘り強く取り組もうとしている。